

無事に収穫を迎えました

平成27年度大津町献穀事業「抜穂祭」

黄金色に実った米を刈り取る「抜穂祭」が10月10日に引水の献穀田で行われました。これは11月23日に皇室で執り行われる「新嘗祭」に献上される米と粟を収穫するための献穀事業の一部です。大津中学校の男子生徒8人が白装束の「田男」、女子生徒8人がすげ笠にかすりの着物、赤たすき姿の「早乙女」に扮して鎌で稲を刈っていました。田の持ち主で米と粟を奉獻する谷本保馬さん、鈴子さん夫婦(引水)は「地域の皆さんのおかげでこの日を迎えられました。ありがとうございます。」と述べ、大任をひとつ終えて、安心した様子でした。



紅白の帯のついた稲を丁寧に刈っていました

企業連スポーツレクレーション大会

地域とともにがんばります

大津町企業連絡協議会によるスポーツレクレーション大会が10月18日に町運動公園体育館で開催されました。町の33企業、550人が参加し、ミニバレー、ソフトバレー、グランドゴルフなどで汗を流しました。これは同協議会が企業間の交流を目的に毎年行っているものです。中には仮装をしている参加者もあり、皆さんが思い思いに交流を楽しんでいました。



企業やチームの垣根を越えた声援をうけプレーを楽しむ参加者たち

全国で活躍する大津町の人々

全国大会出場など



第53回全国空手道選手権大会

11月8日(日)に大阪府で開催予定で、円空塾菊池に所属する室小6年の松村亜来さん(室)が出場します。



第37回全国レディーステニス大会

11月12日(木)～14日(土)に東京都で開催予定で、熊本県代表で宮崎悦子さん(美咲野)が出場します。



第24回日整全国少年柔道大会

10月12日に東京都で開催され、大津南小4年の東家龍樹さん(岩坂)が出場しました。



第14回全国社会人9人制バレーボール男女優勝大会

10月2日～5日に京都府で開催され、本田技研工業(株)大塚クラブ所属で(写真右から)監督の大塚啓一さん(大林)、選手の吉村祐貴さん(室)、松村翔太さん(引水)、岩下貴則さん(美咲野)、和田孝一さん(平川)が出場しました。

町では、スポーツ・文化の普及・振興を図るため、全国大会などに出場する場合(県予選大会を通過し、中央の競技団体などが主催する大会で、学校教育活動以外のもの)は、「大津町全国大会等出場報奨金交付要項」により激励金をお渡ししています。

●問い合わせ
役場生涯学習課
生涯スポーツ係(スポーツ部門) ☎096(293)8088
生涯学習係(文化部門) ☎096(293)2146

大津の「知らなかった」を発見

ピクニック気分で大津町歴史散策めぐり

大津町歴史散策が10月11日にスポーツの森を出発し、町の歴史を勉強しながらバスや徒歩で散策し大観峰を目指す形で行われました。これは持続可能な農村漁村を目指す、県の「くまもと里モンプロジェクト事業」を活用し、引水東区が主催したものです。当日は引水東地区の大人、子どもを合わせて約40人が参加し、散歩気分を楽しんでいました。上井手沿いの光尊寺が大津小学校の前身であるという説明に参加していた小学生は「昔はこんなお寺だったんだ。知らなかった」と驚きを隠せない様子でした。



年彌神社の説明をする講師の清本佳明さん(左)と話を聞く参加者の皆さん

地下水が育む稲を収穫

くまもと地下水財団稲刈り体験

くまもと地下水財団が取り組む「水田オーナー制度事業」の稲刈り体験が10月10日と11日の2日間かけて行われました。晴天にも恵まれ、企業や一般の家族などが町内外から約400人が参加しました。湧水を使った稲は黄金色に実り、「味もきつと美味しい。」と真木地区の農家の皆さんからのお墨付き。参加者は鎌をつかった稲刈り体験を楽しんでいました。



大津町の田んぼは水が土に浸透しやすく、多くの地下水を育みます

18人で世界でひとつの梅を完成

大津中学校3年生「地域に文化を学ぶ」

大津中学校の生徒18人が10月16日に町の伝統工芸品である梅の造花を完成させました。これは大津中学校が行っている「地域に文化を学ぶ」というコース選択の総合学習授業で作成されたものです。梅の造花のコースでは肥後大津民芸造花保存会の指導のもとで7月の授業開始から3カ月かけて完成させました。参加した生徒からは「無事に完成してよかった。花びらを作るのは集中力が鍛えられました。経験を受験勉強に活かしたいです。」などの感想がありました。選択コースには他にも茶道や太鼓などがあります。



見事な梅の造花を中心に笑顔でポーズ。生徒たちが作り上げた梅の造花は大津町文化祭で展示されました

自治会の力でバスを運行

真木地域コミュニティバス出発式

真木地区のコミュニティバスの出発式が10月1日に地区の前原公民館で行われました。これは、国の農村集落活性化支援事業を真木地区が活用して行っているもので全国的にも新しい取り組みです。毎週火・木・金に運行し地区の住民を対象に1日2往復を行います。「地区の交通がよくなってうれしい」と出発式に参加した人は声をはずませていました。



前原公民館前を出発する記念すべき第1便を笑顔で見送る地区の皆さん